

平成30年度幼稚園・認定こども園の入園児募集

【問い合わせ】 保育幼稚園課 ☎22・9655 FAX 22・9646

市内の市立・私立幼稚園と、私立認定こども園（幼稚園部分）では、来春4月からの入園児を募集します。



◆市立幼稚園

《桃青の丘幼稚園》

【対象児】

平成30年4月1日現在、市内在住の子ども

【区分】

- ① 1年保育（5歳児）…平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ
- ② 2年保育（4歳児）…平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれ
- ③ 3年保育（3歳児）…平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ

【募集人数】

- ① 37人 ② 50人 ③ 40人

【保育料】 市民税所得割課税世帯

6,400円/月

※保育料は多子軽減などが適用される場合があります。

※入園料は無料ですが、諸費として

毎月2,000～5,000円程度が必要です。

※施設の都合や学級編制上、入園をお断りする場合があります。

【申込方法】

桃青の丘幼稚園にある入園願書に必要事項を記入の上、提出してください。

【申込期間】

9月19日(火)～10月5日(木)

午前8時30分～午後5時（土・日曜日、祝日を除く。）

【抽選日時・場所】

10月14日(土) 午後1時

桃青の丘幼稚園

※入園希望者が定員を超えた場合は抽選となります。

※当日欠席の場合は棄権とみなします。

※募集定員に満たない場合でも、入園に必要な書類の説明と受領を行います。印鑑、保護者・入園対象児童のマイナンバーカード（通知カード）、保護者の本人確認できるものを持参の上、必ずお越しください。

【申込先・問い合わせ】

伊賀市上野丸之内177番地の1
桃青の丘幼稚園 ☎26・5770

◆私立認定こども園

※認定こども園とは

幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持ち、就学前の子どもに教育と保育を一体的にするほか、地域における子育て支援を行う施設です。

《認定こども園 青山よさみ幼稚園（幼稚園部分）》

【募集人数】

- 1年保育…若干名
- 2年保育…若干名
- 3年保育…20人

※募集人数は保育所部分を含む。

【保育料】

保育料上限額 18,200円/月

※世帯の市民税所得割課税額に応じて市が定める保育料となり、多子軽減などが適用される場合があります。

【申込方法】 入園願書に必要事項を記入の上、提出してください。

※入園願書は事前にお渡ししますので、申込受付開始日までに必ず連絡してください。

【申込受付開始日時】

10月2日(月) 午前9時～

※受付は定員になり次第締め切ります。

◆私立幼稚園

《白鳳幼稚園》

【募集人数】

- 2年保育…若干名
- 3年保育…25人

※詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】

伊賀市上野伊予町1067番地の1
白鳳幼稚園 ☎21・00091



保育所（園・認定こども園（保育所部分））の募集は、10月中旬からを予定しています。

詳しくは広報いが市10月1日号でお知らせします。

公共交通のある地域を守るために みんなで公共交通を利用しよう

【問い合わせ】 交通政策課 ☎ 22・9663 FAX 22・9852

市内のバス路線は、交通事業者の営業バス路線が5路線、市が経費を負担して運行するバス路線（廃止代替バスや行政バスなど）が14路線あります。また、鉄道路線は、JR関西本線・草津線、近鉄大阪線、伊賀鉄道伊賀線が運行しています。

これらのバスや鉄道は、人口減少や少子高齢化、自家用車への依存などにより利用者は減少しており、サービスの低下や縮小、廃止が心配されます。

しかし、これらは車を運転しない人や高齢者、学生にとっては無くてはならない移動手段です。

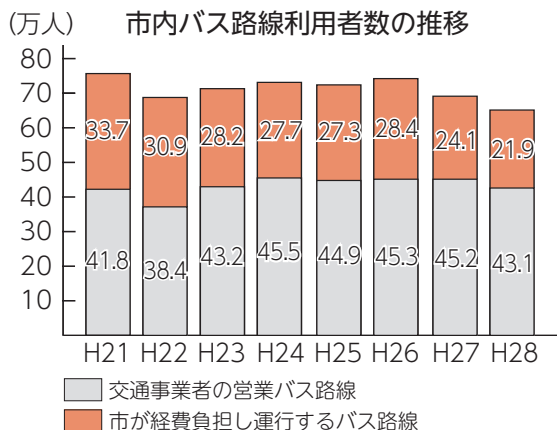
今回は市内のバス路線と鉄道路線の現状についてお伝えします。



◆利用者の推移

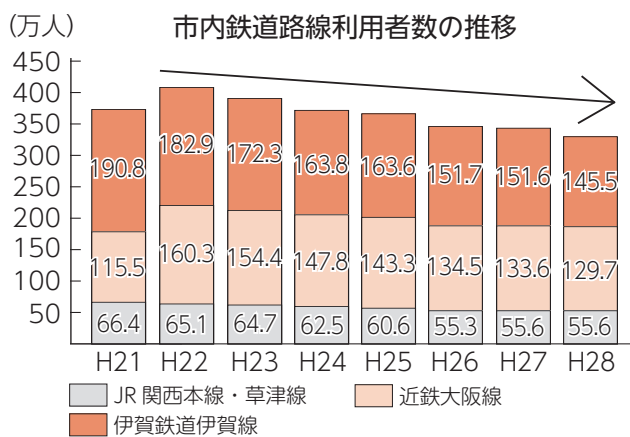
バス路線の利用者は、平成21年は、営業バス路線と市が経費を負担して運行するバス路線の合計で約76万人の利用がありました。平成28年は約65万人に減っています。

次のグラフでは、営業バス路線の利用者数は近年横ばいとなっていますが、市が経費負担し運行するバス路線は減少傾向にあります。



また、次のグラフでは、鉄道路線の利用者数の推移は平成21年から平成22年には少し増加していますが、その後は減少傾向にあり、平成28年は約331万人まで減っています。

鉄道路線は、全ての路線で減少傾向にあり、特に学生の定期利用者の減少が大きくなっています。



◆市の負担額

バスや鉄道の利用者の減少に伴い、市の負担額は増加しています。平成21年の負担額は約1億6,584万円でしたが、平成28年には約2億4,858万円となり、8,274万円増加しました。



◆皆さんの協力をお願いします

市では、乗り継ぎの強化などの利用促進策に取り組んでいますが、厳しい状況が続いています。バスや鉄道のある暮らしをこれからも守っていくため、週に1回利用している人は週2回に、月に2回利用している人は月3回に、全く乗らない人は、まずは年に1回、バスや鉄道を利用してみませんか。1人ひとりが無理のない範囲で、利用する回数を増やしていただき、公共交通を将来に残すため、ご協力をお願いします。